

## 令和5年度 鹿児島県認知症ケア専門士会 総会

令和5年6月25日(日)に令和5年度鹿児島県認知症ケア専門士会総会が開かれました。役員も現メンバーが留任し、今後もより一層鹿児島県認知症ケア専門士会の円滑な運営を行っていきけるように努力して参りたいと考えています。会員の皆様には引き続きご協力を頂けますよう、よろしくお願いたします。会員の皆様のご質問やご要望にも、できる限り添えるように努めていければと考えております。



## 令和5年度 鹿児島県認知症ケア専門士会 第1回単位認定研修

### 「現在使用可能な抗認知症薬4剤の特徴」 「ABC認知症スケールの特徴と使用方法」

香川大学医学部地域連携精神医学講座  
客員准教授

森 崇洋 先生

今回、森先生をお招きして上記のテーマで講演をしていただきました。

現在使用できる抗認知症薬 4剤についてどのような特徴や効果があるのか、服用方法や副作用などデータや画像などを用いて詳しく説明して下さい、メカニズムもよく理解する事が出来ました。

また抗認知症薬以外にもBPSDに対する治療で使用される抗精神病薬や漢方薬、最近ニュースなどを賑わした。「新しい抗認知症薬」についても説明をしていただき服薬療法の重要性以外にも普段私たちがケアに当たる上で注意、観察するべきポイントを学ぶことも出来ました。

認知症の評価にはHDS-R、MMSEをはじめ様々な評価スケールが存在します。認知機能、行動・心理症状、日常生活動作などを総合的に評価して判断する必要がありますが、これらの検査の実施には専門的な評価者訓練が必要な場合があるケースや複数の評価を行う際には1時間前後の時間を要する事もあります。そこで、アルツハイマー型認知症診療時に非専門医やコメディカルスタッフ以外に家族なども15分程度の短時間で、簡便に評価できる 本邦発の新しいスケール「ABC認知症スケール」の紹介もありました。誰でも短時間で行えることで患者様の負担軽減につながるものとして期待できる大変興味深いスケールで、今後臨床の現場でも目にしていける機会が増えていくものではないかと感じました。

今回の研修が少しでも認知症の方のためにご尽力されている皆様のお仕事の後押しになれば幸いです。研修に参加されました皆様、お疲れ様でした。

